

平成 26 年度 第 2 回 二宮町子ども・子育て会議 会議録

会議の概要

開催日時	平成 26 年 7 月 31 日（木）10 時 00 分から 12 時 00 分まで	
開催場所	二宮町町民センター 2A クラブ室	
出席者の氏名	委員	露木委員、内城委員、山下委員、森本委員、浜田委員、水島委員、林委員、中村委員、三柳委員、本間委員、堀尾委員、正戸委員、井出委員
	事務局	諸星子育て担当部長、松本子ども育成課長、神保子育て支援班長、生井主査、寺口主査
欠席委員	本荘委員、鈴木委員	
傍聴者	6 名	
議題	<p>(1) 量の見込みと確保方策について</p> <p>(2) 二宮町次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況について</p> <p>(3) 子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>(4) 各種基準条例について</p> <p>(5) その他</p>	
配付資料	<p>会議次第</p> <p>二宮町子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料 1 量の見込みと確保方策</p> <p>資料 2 二宮町次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況</p> <p>資料 3 改正次世代育成支援対策法に基づく行動計画策定指針（総論部分及び地域行動計画関係部分）案の概要</p> <p>資料 4 二宮町子ども・子育て支援事業計画 平成 27 年度～平成 31 年度（骨子案 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">検討事項</span>二宮町次世代育成支援行動部門 基本理念（案）</p> <p>資料 5 二宮町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（案）の概要</p> <p>資料 6 二宮町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（案）の概要</p> <p>資料 7 二宮町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（案）の概要</p>	

## 議事要旨

発言者	発言要旨
1 開会	
2 あいさつ	
<b>会長</b>	2回目の会議となる。子ども・子育て支援事業計画の内容に入ってくるので、皆様のご意見を出していただきたい。
3 議事	
(1) 量の見込みと確保方策について	
<b>会長</b>	前はイメージの数字が出ていたが、今回は確保していかなくてはならないという国の方針のもとに確保の数字が出ている。確保の数字が出ていないところも、今後は指針に従って進めていく。 ご質問ご意見等あるか。
<b>委員</b>	⑧一時預かりのニーズが多いのに、町補正の見込みが今の定員でいくということか。今の利用実態をみて、このままの定員確保でいいということなのか。
<b>事務局</b>	そうだ。現状の実績は170人になっている。 25年度の1月から栄通り子育てサロンでも一時預かりを実施しているので、そちらの2つの定員の合計を基に実績をみて、定員数×平日の日数で大丈夫ではないかということを出している。
(2) 二宮町次世代育成支援行動計画（後期計画）の進捗状況について	
<b>委員</b>	表の見方がよくわからないのだが、今の事業の実施状況は、たとえば4番の「子育てネットワークの充実」とあり、「5事業中」と書いているが、5つの事業が動いているということなのか。
<b>事務局</b>	事業中というところの頭に数字が入っているが、「子育てネットワークの充実」の中の「相談情報提供の推進」に5つ事業があるということで、それが全部出来ていますということで100%ということになる。
<b>委員</b>	その取り組みが25年度には2つやりましたということで、それ以外に3事業というのはどういう事業のことか。
<b>事務局</b>	ここでは主な2事業しか入れてない。
<b>委員</b>	33%、67%、50%、100%などの数字のつけ方はどういう基準でつけているのか。事業を実施したというのであれば、100%という捉え方で良いと思うが。例えば、裏面の3の「子どもの心身の健やかな成長のための教育環境の整備」の一番下の子どもレクリエーション大会参加者がレクリエーション中止となっているが、100%実施したと言えるのか。事業を実施しようとしてやむを得ず中止したものとするが、100%の意味がわからない。数字の判断の仕方を教えてほしい。

発言者	発言要旨
事務局	<p>数字の出し方は、事業を実施しているかしていないかの判断で%を出している。具体的な例で言うと最初のページの上から2番目、「地域子育て支援拠点事業」があるが、3つの事業がある中で2つが出来ている。</p> <p>一番上に判例があるがAが実施中、Bが一部実施中、Cが検討中・未実施ということで、A、つまり3つの事業のうち2つ実施している、だから3分の2の67%、B一部実施しているのが1つある、なので3分の1で33%という表示となっている。通常では、目標値があってそれに達する形での%を出すことが多いが、この計画の中での判断というのは、事業を実施しているかしていないかそれをもって%を出している。</p>
副会長	<p>「(2) 特別保育の充実」でいうと、Cは67%で未実施ということか。</p>
事務局	<p>そうだ。1ページ目の中段に「C 67% 休日保育事業の実施」というのがあるが、休日保育は未実施である。また、「その他特別保育の検討」についても検討中であり、3事業のうち検討中・未実施というCが2つあるので67%となっている。出来てない事業が67%あるということだ。</p>
副会長	<p>出来てない率が67%で、33%が出来ており、Bに達しているということか。</p>
事務局	<p>わかりにくいですが、実際3事業のうち「B一部実施中が1事業」、「C検討中・未実施が2事業」、と書けばもっとわかりやすかったが、今までの表記を踏襲した。</p> <p>もう一点、レクリエーション大会中止の判断は、ここの施策で出している取り組み状況には10の事業があり、レクリエーション大会は中止になったが、レクリエーション大会を包括する事業として、「子ども会活動への支援」というものがある。「子ども会活動への支援」は資料には載っていないが、そういう括りがあるので、その括りでは実施していると判断している。事業名が抜けているのでわかりにくかったかもしれない。成果表の作り方についても、もう少しわかりやすいようにしたいと思う。</p>
会長	<p>次世代育成支援行動計画が過去10年間あって、その中で、例えば子育てサロンというのが出来てきたのは、これを見てよくわかる。説明があったように内容も%ではなく、実施してきたのを%で示しているという説明のようだ。</p>
委員	<p>1ページ目の「放課後児童対策の充実」で、25年度と前年度で指導員研修会参加回数がそれぞれ4回で参加者が出ているが、「指導員研修会」とはどれを指しているのか。また、「支援を行った学童クラブ数」とあるが、それはどのような支援を行ったのか。</p>
事務局	<p>24年度・25年度は町主催のものではなく、県の研修会や県と県学童連絡協議会が主催している研修会を案内している回数を示している。支援とは、学童保育への町補助金交付のことである。</p>
委員	<p>指導員研修会については神奈川県が県学童連絡協議会に委託して8回行っているため、4回というのがよくわからなかった。</p>

発言者	発言要旨
会長	特に未実施については今後の子ども・子育て支援事業に受け継いでいく可能性がある あるので、心に留めておいてもらいたいと思う。
(3) 子ども・子育て支援事業計画について	
会長	<p>計画の位置づけの6行目までの内容は、この会議でこれまでやってきたこと だと思う。子ども・子育て支援事業計画は、これまでの次世代育成支援行動計 画における事業についても継承・見直しを行い、子ども・子育ての総合的な計 画としていく。</p> <p>さらに国から次世代育成対策推進法の延長が示され、次世代育成支援行動計 画の策定は任意となった。それが資料3であり、資料3を受けて資料4となっ ている。</p> <p>ご意見ご質問等あるか。</p>
委員	資料3から次世代育成支援対策推進法は子ども・子育て支援法と一体的な策 定が可能ということで、計画の中身を第1部、第2部と分ける必要がなくなっ てきたのかと思う。理念についても次世代育成だけの理念になるのか、子ども ・子育て支援事業全体の理念として考えた方がよいのかどちらか。
会長	前会議でもご指摘いただいたが、冒頭での説明のとおり、前会議の原案と今 回の骨子案とでは修正が進んでないため、検討すべき内容としては把握でき ていると思う。
事務局	<p>資料4の目次の内容で、当初のとおり第1部、第2部の2部構成がいいのか、 一連の中で何章という分けだけでいくのか検討中である。町としては、子ども ・子育て支援事業計画というものは国と色々な調整をしていかなければいけ ないため、そこだけ抜き出せる形にはしたいと考えている。1部、2部でなく、 章の中で分ける等も含めて考えていけたらと思っている。</p> <p>基本理念についても、次世代育成支援行動計画は非常に幅が広いが、子ども ・子育て計画は中でもピンポイントに絞られている。全体を見渡した中で上 に基本理念があって、2つの計画が並んでいるのか、章立てにするのか、頭 にもってくるのか、素案策定作業に向けて考えていきたい。</p>
委員	資料3の見直し案の所も国（厚生労働省）からきたものなのか、町でいく らかオリジナルのものをいれたものなのか。
事務局	国（厚生労働省）からきている。指針なので国の計画のもとで出されたもの なので変えられない。現在は指針の概要だが、今年9月末頃に正式な国から の指針が出て、それに基づいて市町村が策定をする。子育て支援事業計画は義 務だが次世代育成支援行動計画は延長し且つ任意化されているので、どうい うふうに盛り込んでいくのかが町に権限がある。そのため、意見をいただきなが ら、どこまで参酌し取り組んでいくのかの意見をいただきたい。

発言者	発言要旨
委員	<p>すべては国からのものだというのはわかったが、国と接触する機会があったら、こういうことを言ってもらいたい。人間というのは働いて生活して、そして家庭を持って、子どもが生まれて次世代となる。日本はそこで意識が終わっている。先進国は、子どもを育てる中で次世代に自分たちは何を残せるかということをもう1つ考えている。そこに違いがある。自分や、今ばかりを中心ものを考えてしまっているから日本はだんだん右肩下がりにになってしまう。次世代に何を残していけるかということ、自分を中心しながら次の世代のことを考えるパワーをもっていけば、日本はもっとアップしていく。その辺が欠けている。</p>
事務局	<p>理念の文言の中の説明文の中に併せ持つて入れていくことで、それが全体の計画の内容にもなるので盛り込んでいくことも検討したい。</p>
委員	<p>国に意見を伝えた方がいい。以前文部省の人と話したことがあるが、彼らは頭はいいが、どこか見落としているところがあるから伝えるべきだ。</p>
委員	<p>資料4の計画の位置づけにあるように、この計画は子ども・子育て支援についての総合的な計画とするとあるが、この会議で次世代の行動計画の部分まで踏み込んで議論を行っていくということによいのか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画だけではなく、次世代育成支援行動計画の部分も含めてこの会議で議論いただきたい。</p>
委員	<p>それは何に基づいて議論していくということか。支援計画の方はニーズ調査を行ってその結果に基づいて議論していくと思うが、次世代の取り組みについては進捗状況に基づいた今後の見通し的な部分のニーズ調査的なものは行われていないと思う。今後調査の予定はあるのか。</p>
事務局	<p>次世代育成支援計画の過去の計画があって、国から今回指針が出てやっていくというところで、次世代育成支援行動計画のためだけのニーズ調査は行わない。昨年度、実施した児童手当の時のアンケートも1つの参考と考えている。去年の会議に結果をお知らせしただけで今回は資料として用意はしていない。本会議は子育てに関わる方々に集まっていたので、現状の中で今後どうしたらいいのかというご意見をいただければと思う。</p>

発言者	発言要旨
会長	資料4に移りたいと思う。今回は特に基本理念の中身について別紙検討事項の資料により議論をしたい。これまでの町の次世代育成支援行動計画は、内容が素晴らしいものだと思っている。しかし、これまでの10年間の取組みは認識してなかったのが、子育てサロンや一時預かり等の良いものが出来ていくのを漠然とした思いでしか感じてこなかった。後になって、これが次世代育成支援行動計画に基づいたものだとわかった。ピンポイントの子ども・子育て支援事業計画だけでなく、次世代育成支援行動計画も盛り込もうとする町の計画は良いものになると期待している。現計画のP59にあるような基本理念の解説文についてはもっと前のページに持ってきてほしいと思う。1の案を基に新しくしてもよいかと思う。子育てには辛いことも多いが、「笑顔の子育て 子ども輝くまち」とか、そういう感じでもよいのではないかと思っている。
委員	3番目がいいと思う。前回でも誰向けの計画なのかと対象を確認したが、現計画の理念にも『若い人々がこの町で家庭を持ちたい、この町でなら何人もの子どもを育てたいと願うような』町を目指したいとある。地区でも子どもが減ってきているのを実感しているが、250家庭を下まわってきている。そのため、町外にも発信していく必要があると考える。そうすると、人とのつながりや自然が豊かといった、町の特徴のようなものを取り入れている3番が良いと思う。
委員	同感だ。2番の「誰もが安心して」というのは当たり前のことだ。そういう基礎があつての町の特色が出ているのが3番だ。1番の「楽しい子育て」だが、子どもが減っていて、当然保護者も減っている。そのため、低学年の子どもを預けて、高学年の2泊3日のキャンプの手伝いに行ったりしている人もいて、楽しいどころか苦しい子育ての部分もある。子ども会も人数が減っていて、保護者の負担も増えている中で「楽しい子育て」は違和感がある。町外の人達へも二宮町の特色が表れている良いものにしたいと思う。
委員	子ども会の活動は活発に行われているのか。
事務局	各地区の活動は、それぞれの地区ごとにある程度まかせてやっている。現時点で加入率等は把握していないが、各地区では活発に活動しているように感じる。
委員	子ども会も大きいと活動が大変なので、小さくして活発にしたらどうか。少人数であれば、子ども同士での遊びが醸成されていくし、親は危険がないように見守ることもできる。日本は親がセッティングしたがる。そうすると、次に役員になった人が前任者を上回ったプランニングをしようとエスカレートして、くたびれてしまう。「自由に遊ばせよう」という発想もできなくなり、役員の成り手がなくなってしまう。町の方が指針を出して、リードしてやってはどうか。サマースクールのようなものをやってはどうか。町が計画するか、業者に委託して町の推奨する行事をしても良いと思う。

発言者	発言要旨
委員	<p>子どもが幼稚園に通っていて、今年から夏休みの夏期保育以外に預かり保育が始まった。基本的に夏休みは家族や地域で過ごす時間だと思っている。平日は家庭でゆっくり過ごせないので、夏休みは洗濯や掃除の仕方を教えられる良い機会となる。休日保育を望む保護者の話を聞いたら、「休日に保育に行ってもらったら楽だ」と子どもの前で行っていた。私も仕事をしているが、近所の人自主的に子ども3人を預かってきている。そういうことが自然に起こってくるのが人とつながることであって、上から形を作ってやっても人と人とは簡単にはいかないかもしれない。結論は出ないが3番がいいと思う。</p>
委員	<p>児童虐待に関わっている立場で話しをすると、虐待の数は増える一方だ。今の保護者には、子育てについて多少不便でも楽しめる環境にはない事情があるようだ。他市町では身体的な虐待が多い中で、二宮町ではネグレクトが多い。その日の生活にいっぱい暇がないのかもしれない。子どもが団体生活等、日常的にも経験不足ということも多い。町の特徴として、自然と触れ合ったり、子ども会のように、決して地域の人は冷たいわけではなく、二宮町はまだまだ捨てたものではないと思う。地域の人と触れ合うというようなアピールを上手にしていけることが、町外へ向けてもいいと思われる。今いる町の子どもが今後も定住して子を産み育てていけるよう、湘南としては田舎的ではあるが、穴場の二宮の生活スタイルがアピールできるといいと思う。二宮町の要保護や虐待、地域の安全対策の体制はきめ細かいと思うし、それは町外へも自慢できるものだと思う。3番が良いと思う。</p>
委員	<p>子育て支援は子どもに焦点を合わせるべきだが、子どもの安心や安全を守るがために親のニーズに合わせすぎている気もする。保護者をサポートしなければ子どもは幸せにならないが、サポートしすぎて子どもにプラスになるのかな、とも思う。子ども自身が人とつながる力をつけていくことに焦点を当て、そこに親を巻き込んでいくことも大事で、そういうふうにつながって、子どもが安心を得て、その上で親が変わっていけるかもしれない。以前は保護者をサポートすることに重点を置きすぎたのではないかと、対応に迷い、悩み、戸惑っている。そういう意味でも大人だけでなく、子ども達も自らつながる力を付けていけるように支援する人がいる。そういうイメージが二宮にはあり、大事にしていったら良いと思う。3番が良いと思う。</p>
会長	<p>3番で、子育て世帯だけでなく、「子どももつながる」という解説があってもよい。</p>

発言者	発言要旨
委員	<p>どれもいいと思うが、自分の中で説明がつかない。3番目については、みんながつながってということは、町外から来た人が「自分も何かをしないといけない」という不安を抱くかもしれない。祭りや消防団等が思い当たる。また、「自然と触れあいながら」とあるが、自然とどこでどう触れ合うことができるのか。汗をかいて吾妻山などの公園まで行くことが触れ合うということか。そういうことを考えると、二宮町は地域の目がしっかり行き届いていて、自然があったりと、都会とは違うという部分を言うのであれば解説文の内容がとても重要だと思う。</p>
副会長	<p>3番がいい。「笑顔」を入れてもいい。「みんながつながり」というのは、地区の担当としてはつながって欲しいので、入れてもらいたい。「自然」も自分の地区では目の前が海なのでまさに触れ合えていると思う。</p> <p>子ども会の話だが、20の子ども会がある。地域の方も子どもをメインにしている、子ども会を支援している。行事を通して、地域の子も同士がつながりを持っているし、保護者も一生懸命やってくれている。引っ越ししてきたばかりの若い夫婦も小学生の子どもが子ども会に入ったのをきっかけに町内会に入ってくれたという事例もある。地域とのつながりという点で、3番を推奨したい。</p>
委員	<p>お互い顔見知りになれば、気軽に名前でも声をかけることもできるし、安心して公園で遊ばせることもできるので、3番がいいと思う。</p>
会長	<p>二宮町らしいものとしては3番が多いようだが、今決める必要はない。いろいろな意見が出たので、また案として出るのでその時にまた意見もいただきたい。基本理念を表紙に入れてもいいのではないかな。そういう町の理念がアピールになると思う。</p>
(4) 各種基準条例について	
会長	<p>資料7については12月の議会に提出のため検討中だ。今後再度この会議で諮るか。</p>
事務局	<p>改めて諮る。</p>
会長	<p>ご意見、ご質問等あるか。前回概要が示されていることもあるし、この流れでよいか。</p>
委員	<p>了承</p>
(5) その他	
事務局	<p>今後のスケジュールだが、国からの情報が不明確な部分が多いことと、8月後半に県からのヒアリングがある等の理由から、3回目の会議は10月の初旬となる。日程については改めて通知する。</p>
委員	<p>子どもの居場所づくりとかあるので、この会議には直接は関係していないが、生涯学習課でやっている放課後子ども教室について、来年度以降の方針とか会議の中で説明していただくとありがたい。</p>



発言者	発言要旨
事務局	今後各課とヒアリングを行うので、提供していきたい。
4 閉会	